

旭川東高だより

No. 158

<http://www.ah.hokkaido-c.ed.jp/>

PTA事務局 〒070-0036 旭川市6条通11丁目 電23-2855



シマレ
ガンバレ

目次

- 1 頁 校長祝辞／PTA会長祝辞／卒業生を代表して(全・定)
2 頁 卒業担任より(全・定)
3 頁 卒業生へ贈る言葉(全・定)／定時制がより／来臨によせて

- 4頁 3年間の思い出①～写真で振り返る～
5頁 3年間の思い出②～写真で振り返る～／旭東2020
6頁 部活動報告

祝 辞

「感謝」を胸に



校長

小林為五郎

旭川東高校七十一年となる卒業生の皆さん
の新たな旅立ちに大きな期待とエールを送り
ます。

三年前、希望と不安を抱えながら、本校の校舎に足を踏み入れたことは記憶に新しいかと思ひます。身体的な成長が著しかった中学校時代から精神にも近くなり、多面的に物事を考える力がつき、具体的な目標設定と戦術を駆使し、本格的に大人として歩を進めていくスタートラインが高校卒業期かと思ひます。

親の立場からすると、手塩に掛けてきた長子や娘が独り立ちし、自分の足で歩み出す姿には、頼もしさを感じながら、些か寂しい気持ちも拭い去ることは出来ません。昔の自分を振り返り、オーバードラップする状況や同じ轍を踏ませないという思いも交錯しています。誤と汗を流しながら進んできた人生経験を通して、我が身よりも子の歩む将来を案ずるのが、古今東西、何時の時代にも親の心境であることは不変です。

卒業生の皆さん、これからの人生に様々な苦難や困難があろうとも、果敢に乗り越えていく力を持たなくてはなりません。「這え、立て、立てば歩めの親心」という言葉があります。我が子には、その苦実な歩みを続ける力が備わっているものと親は信じています。愛おしき、期待、思い、願ひなど、その心遣いは子の成長と共に変化していますが、望むところは、大人として責任ある成長を遂げる事に尽きます。何故なら、これから先、あなた達の人生を見ることが、その完成形を残念ながら親は見る事ができません。そのことを心に留め、大きく羽ばたいてください。

皆さんにとっては、新型コロナウイルス感染症に類
開された最終学年となりました。虚しさや痛
みを知っている人は、当たり前に行えること
のありがたさや嬉しさを誰よりも知っている
はずです。

子育て



PTA 会長

村井 為敦

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませす。しかし、我々親にとっては、いよいよまじりの日が来てしまった、という感じではないでしょうか。それに親にとって、子育ては人生最大の恵みであるからです。小学校、中学校の卒業とは違い、高校の卒業は親からの卒業のようです。

これからは、こゝまで成長した我が子に頼んで、何ができるのでしうか。私は子どもも努力すればする程、日曜に向かつて進めば進む程、無力さを感じ、胸が詰まって苦しくなりまゝす。たぶん我が子を信じることしかできないのだと思います。

また今年度は日本中、世界中が大変な年となりました。令和2年の流行語大賞は「滅亡の刃」ではなく、「3密」でした（今年の漢字は「密」）。1年前の卒業式、私は祝辞を述べたために登壇しました。保護者も在校生でもない体育館、とんでもなく寂しかった。まさかこの状態が1年、いやまだこれから続いてしまうことに。

今から2年ほど前に、コロンビア大学となつてまいりました。日常生活は制限を受け、多くの方々が憂へた。人生さへも脅かしてゐる大流行に人々は耐えています。高校生においても学校祭が中止、身体連・高文連の試合や大会が中止、見学旅行も中止。一生に一度のことですから、残念という言葉では足りないでしょう。特に卒業生には今までに味わつたことのない喪失感であつたかも知れません。

しかし、皆さんにはこのコロナに苦しんだ
経緯をせめて何かに生かしてほしい。命の尊
厳、生きると言うこと、多くのことを思い考
えてほしい。世の中思ひ通りになくても、
誰かを批判するのではなく、誰かのため
に力を発揮できる強い人になってください。
最後にこの状況の中、教職員の皆様は子ど
もたちではなく、我々親のためにも多くのこ
とを検討し決断し実行してくれました。教職
員の方たちが本当に子どもたちのことを愛し
てくれていることを実感できた1年でもあり
ました。心より感謝申し上げます。

卒業という日は



全日制3年

石崎颯太郎

やつと卒業か。いや、もう卒業だ。気づけば三年という歳月をこの旭川東高校で過ごしていった。人生のほんの少しの濃密な時間を、こんなにも人同味あふれる仲間たちと過ごせたことを私は心から嬉しく思ふ。

少し悪い返をう。敬週前まで中学生だった、三年前の自分の姿を、外見のことでも内面のことでもいい。一体その姿は、今の自分の姿と何が違うのだろうか。些細なもののでも変化を見つけられたなら、それは自分が成長した証だと、私は思う。

この卒業という日は、私たちがきざしに社会に足を踏み入れていく、大きな大きな通過点の一つだ。その先の広すぎる世界にきつと臨するところもあるだろう。しかしどの未来を選択するかは、私たちが次第だ。磨いた自信を胸に、後悔しない、ワクワクするような未来を歩んでいこう。



定時制4年

越田佳帆

この数字は4年間の日数です。
数字で表すと、すごく大きな数ですが、今思

え、あつという間でした。昼間はアルバート、夜は学校に行き勉強の毎日。最初は慣れるまでに時間がかかり友人とも、ぶつかりました。が今ではすべが、かすがえのないいい用です。時間というのは儚いものですが、ここまでの又れたのは保護者の皆様、先生方、在寮生の皆さんのおかげです。感謝を忘れず、この4年間ですで学んだことを生かし成長し続けたいと思います。改めまして、1年間お世話になりました。そして、本当にありがとうございました。

卒業生へ贈る言葉



東二門出スル人アレバ行ツテ祝イ

2年5組 青木 涼馬

「東二モマケズ、西三モマケズ、南三モマケズ、北三モマケズ、大ナ心算ヲモチ、ギラギラノ大志アリテ、決シテ怒ラズ、イツモシツカニワラツテイル」

私から見た3年生の皆さんを簡単に言いますとこんな感じでしょうか。改めて、3年生の皆さんへ卒業おめでとうと言います。本日という日を立派に感じるように、どこか寂しさも感じておられます。私たちにあって先輩方は東高生として、人としてあるべき一つの手本でした。普段から部活動や行事で忙しく、隙間時間を見つけては勉強をする。それだけでなく、周りの誰かのために何かを率先して行う姿を、幾度となく見てきました。さらには、様々なことに決して、高い目標を掲げて全力を尽くし、決して周りのせいにはしない。これらは単純な体力だけでなく、自分を把握しマネジメントする働き、周りを見る力、何より強い心が必要であり、簡単にできることだと引く振る立場となった今、痛感しています。

3年生の皆さん、これまで私たちを引っ張ってくださり、本当にありがとうございました。これからのご活躍を心よりお祈り申し上げます。そして、次に会った時には、私たちがまだ知らない世界のことを是非教えてください。楽しみにしています。私たちが先輩方に追いつけるよう精進し、これからの東高校を創り上げていきます。

「ホメラレモセズにやるべきことをなし、人のためになることをタニモシナイ、そういう先輩方のように、ワタシハナリタイ」



卒業生の皆様へ

定時制2年 佐々木 友

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。最後の集大成として出場する予定だった定時制、学校祭が中止となり心残りもあつたかと思いますが、3年、4年間もの長い時間を一生懸命に頑張つて通学してきたことに心より感謝しています。この先、秋について色々な壁にあつたかと思いますが、夏を超えて頑張ってください。私達在校生も先輩達を見習って卒業に向けて日々努力していきます。

定時制だより

4年生8名、三修制3年生1名、計9名の卒業生の皆さん、晴れて卒業を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。これまで温かく見守っていただいた保護者の皆様、おめでとうございます。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでの教育活動とは異なる一年になりました。私達は、今、歴史に残る時を生きていると思います。きつと歴史に残ると思います。新しい生活様式が求められ、生活そのものが変化しました。私たちが変化に対応できる行動が求められているのではないのでしょうか。

さて、1月29日(金)、恒例の「卒業を祝う会」が開催されました。今年は密を避けるためこれまでの給食室から体育館に会場を変更して行われました。学年交流の「東高クイズ」、学校生活を振り返る「スライド上映」等、卒業生と在校生との交流の時間が惜しまれつつ過ぎていきました。先生方から卒業生への一言では、卒業生の思い出話や成長した言葉が卒業生に伝えられました。



この後は、コロナ禍の中で行われたその他の行事を紹介いたします。

①生活体験発表大会9月10日(木)

「第64回道北地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会兼全道大会予選会」が旭川市大雪クリスタルホールで行われました。本校の代表に選ばれた2名は、NHK優秀賞と努力賞を受賞しました。放課後、一生懸命に練習した成果が出て、堂々とした発表でした。



②2学年宿泊研修10月15日(木)

18日(金)ネイバル深川一日目は、旭山動物園を見学。あいくの雨でしたが、たくさん動物を見て、心が癒やされたようです。その後、ネイバル深川に移動し、レクリエーション。バタシタやパドミントンをして交流しました。二日目は、ブラ板作り。生徒達は、思い思いの絵を描き、きれいなキーホルダーを作成しました。この二日間、仲間同士の交流を深め、実りのある研修ができました。



退職によせて



全日制(情報科・理科) 山下 浩己

この3月をもちましてのべ6枚校計37年間の教員生活にピリオドを打ちます。長い間の指導、ご健闘、本当にありがとうございました。嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこと、苦しいこと、多くのことがありましたが、どれもこれも自分の成長の糧となったと感じております。特に3年間と短い時間でしたが、最後をこの旭川東高校で過ごすことができたことを幸せと感じております。本当にお世話になりました。



事務長 山本 浩

昭和58年に留萌管内の中学校を振り出しに、中学校9校と2度の教育局勤務を経験してきました。中学校・特別支援学校・農業高校・定時制のある学校など、地域も校風も異なりますが、都度事務室の職員や先生達に助けをもらい、時に保護者の皆さんの協力を得て、やってこれたと思います。

事務ですと生徒とは限られた範囲でしか接点はありませんが、校内の掲示物・発表の機会などで生徒の活動を感じるようにしていました。東高生は、絵や書道やその他発信するものには強い自己表現が伝わってきます。教室の後ろの黒板に「欽式的な解説」「科学的な表現」が書かれたりしている中、名目「があったりして心に残りました。

短い2年間でしたが、いろいろな気づきや発見ができる学校に勤務出来たことを光栄に思います。これからも、生徒の皆さん、職員の方、保護者の皆さんの総力による、東高の姿や情報を楽しみにさせていただきます。

行事セレクション

～写真で振り返る 3年間の思い出～

1年生



2年生



3年生



「旭東2020」旭東生の思いをつなぐ

2年1組
多屋日美喜

今年度は新型コロナウイルスの影響で本来あったはずの学校祭が中止になり、その代替案が「旭東2020」でした。異例の6月から始まった新学期、クラス替え後クラスの仲が深まる行事がなくなり、3年生の思い出の1つが欠けてしまったこと、1年生が旭東らしい皆で全力で創り上げ楽しむ行事を経験できないなんて1の思いで、生徒会ができることを考えました。生徒会では3年生が引退し、1、2年生主体で前例のない新たな行事の企画・運営に挑むことになりました。行事を運営するにあたって、密を配慮しながらもクラスの絆を深める企画を提案したい。「どう工夫すれば全校生徒に楽しんでもらえるだろうか」を考える日々でした。何度も全校生徒へ向けて訂正のプリントを配布してしまいました。辛い時期もありました。けれども、応援してくれる友人や先生方、執行部の仲間のおかげで心が折れずに前向きに取り組むことができました。

結果、私の手応えとしては大成功だったと思います。東高全体が笑顔と熱気で溢れ、盛り上がりつつあったのが印象的でした。行事が終わった後、同窓からの「ありがとう」の言葉が何よりも嬉しかったです。その裏には、前期文化委員の方や審判をしてくださった運動部の方々、放送局の方々、その他大勢の協力がありました。私は「旭東2020」を通して、協力することの大切さや自分の考え

を人に伝えることの難しさ、学校生活において勉強だけでなく仲間と全力で楽しむ行事が不可欠であることを学び、改めて生徒会としての役割を見直す機会になりました。大成功と言ってもやはり反省や改善点も多くあり、これらを生かして今後の行事も東高一丸となってみんなで楽しみたいのです！



部活動報告

【地区大会】
（☆印は全道大会出場）

[illegible]

【全道大会】
(★印は全道大会出場)

[illegible]

【全国大会】

[illegible]